

## 気になるマイナーな山 兜山～岩堂峠

実施日 2010年2月8日(日)  
 天候 晴  
 リーダー 馬場 清士  
 参加者 斎恵美子、馬場清士、福島政幸、  
 涌井良明、島本陳重、鈴木恵美子、  
 渋谷賢寿、渋谷京子、柴田正喜  
 計9名  
 費用 高尾 春日居 1,280円 甲府  
 高尾 1,450円 タクシ-@ 680円  
 計3,410円  
 タイム 春日井駅(9:08)岩下温泉(9:30)  
 夕狩沢古戦場跡(9:50)大岸壁  
 (11:00)兜山(11:25～12:00 昼  
 食)鞍部(12:45)造林小屋  
 (13:08)岩堂峠(13:32)深草観音  
 (13:40～14:00)積翠寺(14:30～  
 14:40 タクシ-)甲府駅  
 データ 積算距離 10.2km  
 総上昇量 902m  
 活動時間 5時間14分  
 移動時間 3時間24分  
 停止時間 1時間50分  
 移動平均速度 3.0km/h  
 全体平均速度 1.95km/h

天気快晴、塩山を過ぎる辺りから、車窓に雪を被った甲斐駒を初め南アルプスが遠望できる。無人の春日居駅を出て、



国道140号に出ると目指す兜山が見える。岩下温泉を過ぎ、葡萄畑の中を歩き夕狩古戦場跡に着く。葡萄畑に姿を変えているが、大小の岩がごろごろしていて昔を偲ばせる。遠方に山梨フルーツ公園の建物が見える。夕狩沢には、先日降った雪が其処此処に残っている。夕狩沢沿いに暫く行くと、煙火工場があり其の先の大岩の前に、小さな「兜山」の道標があり、此処からいよいよ山道になる。暫く行くと急登になり、一気に汗が噴出してきた。

急登の鎖場を過ぎるとテラス状の大岸壁の上に出る。この辺りから先日降った雪が積もっている。冬枯れの雑木林越しに甲府の町、その上に富士山の姿が見える。



最後の登りに掛かり、岩塊の間を行くと兜山の頂上に着くが見晴らしは無い。3分位南に行くと見晴台があり、前方が開けて甲府盆地が一望出来、富士山を初め三つ峠や周囲の山々を望める。ここで昼食を摂り、「喫茶涌井」のコーヒーを頂いた、寒い中での暖かい



コーヒーが実に美味かった。

昼食後、雪の尾根道を行き、990m峰を過ぎ急斜面を下ると、造林小屋のある



三叉路に着き、谷筋の雪道を登って行くと岩堂峠で、かなりの雪が残っている。雑木林に囲まれた静かな峠で、黄葉の時期も素晴らしいと思う。岩堂峠から深草



観音の道を下っていくと、何体もの石仏が安置された絶壁が現れる。鉄梯子を頼りに登ると、くり抜いた岩の中にお籠り堂が

ある。深草観音から更に沢沿いに下ると、根古屋の集落を過ぎて、武田信玄の生誕地という積翠寺に着いた。折角なので、武田信玄が産湯を使ったという井戸を見て、山行を終わりにした。人に会わず、残雪の中を静かでいい山でした。参加された皆さんお疲れ様でした。

(記・馬場清士)

(写真提供・馬場清士&涌井良明)